

# 社会福祉法人こばと保育園令和 4 年度法人事業計画書

## 1. はじめに

2 年を超える新型コロナ禍の感染防止のために様々な活動が制約されてきたが、オミクロン株は子どもへの感染力が極めて強く、全国的にも第 5 波と比べ保育園休園が急増し、濃厚接触者への対応変化など、さらに緊張し続ける運営、保育が強いられています。

コロナ禍の中でも工夫と創意で保育を進めていますが、この 2 年間、子ども全員でのふれあい、参加、保護者や地域の方々と作りあげてきたの行事の中断、4 年度もなるとそれらの活動継承体験が 3 年ないままとなります。今年度こそは「あたりまえの日常」を取り戻せることを強く願います。

新型コロナは、働き方や暮らし方の家庭格差を今まで以上に広げ、子育てにも大きく影響しています。

保育園は、一層、保護者とのていねいな関りを広げ、「ともに子育て」を歩んでいく力を高めていくことが求められています。

そのために、保育園経営・運営がより安定し、職員の働く環境改善、処遇改善、職員の育ちあいの取組みが大事となっています。

令和 4 年 2 月より国の職員処遇改善臨時特例事業が実施されますが、委託費(職員処遇改善Ⅰ)、補助金、処遇改善Ⅱ、臨時特例事業と細分化、複雑化する国の処遇改善のやり方に事務作業が増える一方で、なかなか処遇改善の柱となる基本給改善につなげる難しさが問題です。

国の職員処遇改善に 9000 円に留まるのでなく、抜本的な改善、職員配置基準の改善と委託費での職員給与改善がセットで行われることを国に強く求めていきたい。

## 2. 基本活動方針

### (1) 法人活動

- ・法人の社会的役割として地域公益事業の具体化を検討していく(親子のふれあいを広げる活動)
- ・こばと共同保育所から認可、認可の歩みを何らかの形で残せるように取り組む。
- ・今後の法人組織体制の在り方を検討していく。

### (2) 保育園経営

- ・今日の状況、新型コロナ禍での安心、安全を土台に保育園経営、運営の在り方を深めていく。
- ・働き続け、やりがいのある労働環境整備と職員処遇改善を引き続き進める。
  - 正職員化、初任給引上げ、定期昇給維持
  - みつば保育園週 5 日制を実施、こばと、みつば同一労働環境整備
- ・職員研修、職員間交流、健康管理など職員が成長する課題や対応を深めていく
  - 職員退職採用が続き、4 年度は新卒保育士 4 人を迎える、伝え合い、語り合う関係づくりの再構築
  - 職員の健康・安全づくりの推進
- ・保育環境の整備を計画的に進めるため、単年度だけでなく中期的な修繕計画や固定資産取得計画の見通しを検討する。
- ・今後の新たな職員体制に引継ぎできるよう諸規定諸記録改定や文書保存管理の整備を進める。

# 令和4年度こばと保育園事業計画書

## 1、子どもの受け入れと職員体制

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
定員	17	17	19	19	19	19	110
4月1日	8	18	21	22	23	22	114
3月	18	20	22	22	23	22	127

	保育士総数	常勤保育士	パート保育士
R3.4	25人	18人	7人(4.25)
R4.3	23人	15人	8人(5.30)
R4.4	25人	18人	7人(4.50)

## 2、運営方針

### 1、令和4年度運営方針

#### (1) 子どもの笑顔、笑い声の広がる保育をすすめる

- ・ 保育者自身が楽しんで遊び、子どもたちの遊びを広げる。
- ・ お散歩、園庭での砂遊びなど、自然に触れる戸外遊びを更に広げる。
- ・ 保育と給食が協力連携を強め、楽しく意欲的に食べる食事、食育を進める。
- ・ 全身を使って思いっきり遊び(リズム運動、泥んこ遊びなど)、表現活動へとつなげていく。

#### (2) 健康保険・安全危機管理能力とその対応力を高める

- ・ 気になる子どもの発達を見つめ、個別に専門機関や小学校と連携していく。  
(年2回の健康診断時に、子どもの発達・養育環境について学んでいく。)
- ・ 除去食の誤食や与薬の間違いが無いように、日々複数の目と耳で確認していく。
- ・ 毎月避難訓練を年間計画に沿って実施、同時に安全点検も行う(防犯、不審者対応を計画、実施する)。

#### (3) 保護者との「共育て」を進める。

- ・ 連絡ノート、クラス便り、懇談会、保育参観など保護者と「共に育ち合う」関係づくりを進める。
- ・ 療育センターなどの受診時、クラス担任も同行し、具体的な指導法を保護者と一緒に学ぶ。
- ・ 子育て支援として地域の親子に保育園を開放する「ほいくのつどい」と一時保育を継続する。

#### (4) 保育を語り合い、職員みんなで保育・子育てを支える職場作り。

- ・ 新卒保育士3名を仲間に迎え、伝え合いや語り合う関係を大事にしていきたい
- ・ 職員育成と職員研修の充実。研修計画を作成する。

#### (5) 労働環境改善

- ・ 週5日制(週休2日制)の実施からリフレッシュして仕事に向かえる点では良いと職員からの声が多い。クラス、パート、全体での話し合いの場を工夫していきたい。

#### (6) 環境改善

- ・ 外壁工事、防犯カメラ、不審者対応(警備保障など)計画的に進めていきたい。

#### (7) 新たな職員体制へ

- ・ 園長、事務員、栄養士など職員体制の移行がスムーズにできるように引き継いでいきたい。

# 令和4年度みつば保育園事業計画書

## 子どもの受け入れと職員体制

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
定員	7	14		19			40
4月1日	3	7	7	6	5	9	37
R3年度	(3)	(6)	(7)	(5)	(9)	(6)	(36)
3月	5	7	7	6	5	9	39
R3年度	(7)	(7)	(6)	(5)	(9)	(6)	(40)
年間延数	46	84	84	72	60	108	454
R3年度延数	(62)	(79)	(79)	(60)	(108)	(72)	(460)

	保育士総数	常勤保育士	パート（常勤換算）
R3年4月	13	9	4(2)
3月	13	8	4(2)
R4年4月	13	8	4(2)

## 2. 運営方針

(1) 子どもと保育者の笑顔、笑い声の広がる保育を進める。

- ① 保育者と子ども、子ども同士のふれあい遊びの中で、安心感と共感関係を広げる。
- ② 子どもの興味・関心・発想を生かし、体験を通して好奇心、探求心、対話力を育む。
- ③ 障がい児を含む全ての子どもたちが共に育ち合う多様な関係性を豊かにし、難しいことへの挑戦する楽しさと自信を育む。
- ④ 保育と給食が連携して生きる力の基礎を広げる食育を進める。

(2) 健康保健、安全危機管理能力とその対応力を高める。

コロナ禍での対応等、2園で共有しながら進めていく。

- ① 全職員が病気、感染症、食物アレルギー等に的確な対応ができるように、絶えず小児保健・医学の最新動向を学び、必要に応じマニュアルを更新し、情報を共有する。
- ② かみつき、取り合い、ケガ、事故への見守り、対応能力の向上を図る。
- ③ 避難訓練、大規模災害、防犯、防災、事故など危機管理対応を強化する。

(3) 保育者との「共育て」「共育ち」を進める。

- ① 保護者の不安を受け止め、安心できる関係を心掛ける。
- ② 子どもの育ち合う姿を丁寧に伝え合う。
- ③ 「共育て」「共育ち」の伝統を受け継ぎ、共に考え合う姿勢を大切にする。
- ④ 地域の子育て支援への参加・連携・保育園開放（みつばのひろば）の継続実施。
  - ・中央地域子育てネットワークへ参加し、地域と連携していく。
  - ・保育実習生、高校生等のボランティアの受け入れを大事にし、保育者への希望を膨らませる機会、人と人が共に関わり合う機会とする。

(4) 保育を語り合い、職員みんなで保育・子育てを支える職場づくり。

- ① 働きがいのある職場づくり、保育を語り合う職場づくり。
- ② 職員育成と職員研修の充実。
  - ・園内研修—キャリアアップ研修会、正職員研修、2園合同研修等々。
  - ・園外研修—8分野のキャリアアップ研修等計画的な実施。
- ③ 職員健康管理、メンタルヘルス、親睦の取り組みを進める。

(5) 保育園の環境整備を計画的に進める。

- ①自然をより生かした園庭の整備、より快適安全な生活環境のため保育園の建物周りの整備を進める。

(6) 保育園の歩みと今後への取り組み。

- ①保育園が開園し13年目に入る。10周年の節目の年を超え、コロナ禍で特別なことができないままに2年の歳月が過ぎてしまったが、これまでみつば保育園に携わってくれた方や卒園児、今在籍する園児や保護者の方職員に向けて記念誌を発行したい。
- ②これまでのみつばの保育を振り返り、さらにこれからも保護者とともに歩み、地域に根差した園でありたいという気持ちを込めた子育てパンフ等の発行。地域の方にも配布するなど、いずれは保育園が地域の安心の拠点となるような取り組みも検討する。